

令和2年4月28日

奥州市議会政務活動費収支報告書

奥州市議会議長 宛

議員氏名 藤田 慶則



令和元年度分の政務活動費の収支を次のとおり報告します。

1 収入

項目	金額	内訳
政務活動費	144,000円	@12,000円×12月
自己負担	5,335円	
合計	149,335円	

2 支出

項目	金額	内訳
研究研修費	8,000円	別紙のとおり
調査旅費	128,135円	別紙のとおり
資料作成費	円	
資料購入費	円	
広報費	13,200円	別紙のとおり
広聴費	円	
要請及び陳情活動費	円	
会議費	円	
人件費	円	
事務所費	円	
合計	149,335円	

# 令和01年度 政務活動費 支出内訳表

議員名	藤田 慶則
-----	-------

項目	整理番号	金額	内 訳
1	研究研修費		
	01-01	5,000	奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟 年会費
	01-02	3,000	市政調査会活動費負担金
	小 計	8,000	
2	調査旅費		
	02-01	79,360	奥和会行政視察旅費（兵庫県播磨科学公園都市、川西市、和歌山県田辺市）
	02-02	2,435	奥和会行政視察経費：秋津野ガルテン
	02-03	46,340	奥和会行政視察旅費（静岡県掛川市）
	小 計	128,135	
3	資料作成費		
	小 計	0	
4	資料購入費		
	小 計	0	
5	広報費		
	05-01	13,200	「奥和会だより」印刷代
	小 計	13,200	
6	広聴費		
	小 計	0	
7	要請及び陳情活動費		
	小 計	0	
8	会議費		
	小 計	0	
9	人件費		
	小 計	0	
10	事務所費		
	小 計	0	
合 計		149,335	

政務活動費 支出整理票			整理番号	01 - 01
			支出整理日	令和 01 年 06 月 21 日
令和01年度	議員名	藤田 慶則	支出項目	研究研修費

金額	5,000	円
----	-------	---

使途： 奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟 年会費

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	年会費	R01-06-21	5,000		5,000
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			5,000	0	A 5,000
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額 (A×B ( (按分がない場合はA再掲) ) )					C 5,000

備考	.....
	.....
	.....

領収書貼付欄 (貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと)

NO. 2

領 収 書 藤 田 慶 則 様

★ ¥5,000

但 奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟 年会費として  
2019年6月21日 上記正に領収いたしました。

〒023-8501  
岩手県奥州市水沢大手町1-1  
TEL:0197-24-2111  
奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進  
議員連盟



会 長 渡 辺 忠

内 訳	5,000円
税抜金額	5,000円
消費税額(%)	0円

収 入	
印 紙	

政務活動費 支出整理票			整理番号	01 - 02
			支出整理日	令和 01 年 06 月 28 日
令和01年度	議員名	藤田 慶則	支出項目	研究研修費

金額	3,000	円
----	-------	---

使途： 市政調査会活動費負担金

---



---

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	負担金	R01-06-28	3,000		3,000
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			3,000	0	A 3,000
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額 (A × B (按分がない場合はA再掲))					C 3,000

備考	.....
	.....
	.....

領収書貼付欄 (貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと)

受 領 書

金 3, 0 0 0 円也

ただし、市政調査会活動費負担金 (@3,000×1人分) として、上記のとおり正に受領いたしました。

令和元年6月28日

藤 田 慶 則 様

奥州市議会市政調査会

会長 小野寺 重



政務活動費 支出整理票			整理番号	02 - 01
			支出整理日	令和 01 年 09 月 10 日
令和01年度	議員名	藤田 慶則	支出項目	調査旅費

金額	79,360	円
----	--------	---

使途：奥和会行政視察旅費（兵庫県播磨科学公園都市、川西市、和歌山県田辺市）  
 視察日：令和元年8月7日（水）～9日（金）

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	J R代金	R01-09-10	48,700		48,700
2	貸切バス代金	R01-09-10	17,760		17,760
3	宿泊費（兵庫県姫路市）	R01-09-10	5,900		5,900
4	宿泊費（和歌山県田辺市）	R01-08-08	7,000		7,000
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			79,360	0	A 79,360
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（按分がない場合はA再掲））					C 79,360

備考	.....
	.....
	.....


領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）

<b>領 収 書</b>		No 016133						
藤田慶則 様		令和 平成 元年 9 月 10 日						
	<table border="1"><tr><td>7</td><td>7</td><td>2</td><td>3</td><td>6</td><td>0</td></tr></table>	7	7	2	3	6	0	
7	7	2	3	6	0			
但し、御旅行代金として、上記正に領収いたしました。								
近畿日本ツアーズ 特約店 <b>水沢ツアーズサービス株式会社</b> 岩手県奥州市水沢区南町3番17号 TEL (0197) 24-7301 FAX (0197) 24-7312		確認印						
A・B- <table border="1"><tr><td>5</td><td>7</td><td>7</td><td>5</td><td>9</td></tr></table>		5	7	7	5	9		
5	7	7	5	9				





# ALTIER HOTEL

アルティエホテル紀伊田辺 

〒646-0032 和歌山県田辺市下屋敷町1-77  
TEL 0739-81-1111 FAX 0739-81-1112  
<http://www.altierhotel.com> Eメール [front@altierhotel.com](mailto:front@altierhotel.com)

## 領 収 証

- ご芳名 藤田 慶則 様
- 人数 1名様
- ご宿泊日 2019年8月8日
- ご宿泊数 1泊
- 金額 ¥7,000 -

但し、宿泊代と致しまして

2019年8月8日  
担当者: 村上 太郎



 ALTIER HOTEL

令和元年度  
奥和会会派行政視察研修報告書

24 番 藤田 慶則

日 時 令和元年 8 月 7 日(水)～9 日(金)

場 所 兵庫県 播磨科学公園都市(兵庫県企業庁)

兵庫県 川西市

和歌山県 田辺市 秋津野ガルテン(農業法人株式会社秋津野)

8 月 7 日(水)13 時 30 分～

兵庫県 播磨科学公園都市(兵庫県企業庁)

播磨科学公園都市の概要について

たつの市、赤穂郡上郡町、佐用郡佐用町にまたがる丘陵地に位置しており、車では相生駅から約 20 分、姫路駅からは約 45 分の距離にある。規模は全体を 3 工区に分け、全体の約 1/2 の面積を占める第 1 工区の整備を進めている。なお、第 2 工区、第 3 工区は現在進捗調整中である。全体計画は 2,010ha、人口 25,000 人(7,500 戸)で第 1 工区は 960ha、人口 5,100 人(1,800 戸)である。

都市内の人口は昼間人口約 5,800 人、夜間人口は約 1,300 人(令和元年 7 月 1 日現在)、産業用地 83,3ha のうち、74,5ha(89,4%)に民間企業 24 社、公的施設 4 施設を誘致し、雇用者数は約 1,500 人である。公的施設には医療センター・特別支援学校・リハビリテーションセンター・メガソーラープロジェクトをかかえ、住宅には公的・民間賃貸集合住宅、都市機能施設には、行政・教育・都市運営関係施設。そして学術研究施設には、H9、10 月に開設された、加速器施設・放射光利用施設・関連研究施設などの大型放射光施設(Spring-8)。H24、3 月に開設された X 線自由電子レーザー施設(SACLA)があります。

Spring-8 の運営は施設者である国立研究開発法人理化学研究所(理研)が行い、利用者選定業務及び利用者支援業務(利用促進業務)を公益財団法人高輝度光科学研究センター(JASRI)が行っている。

Spring-8 は世界の放射光科学を牽引する数々の新しいテクノロジーを開発してきましたが、それらを総合して全く新しい X 線レーザー光源 SACLA を作り上げました。世界中に多数の放射光施設が建設されていますが、それらは Spring-8 で作られた技術が使われています。

放射光施設は加速された電子を曲げることで発生させた強力な X 線(放射光)で、限りなく小さなものを見せるための施設、世界各国はもちろん、日本各地にも多くの X 線放射光施設が作られています。Spring-8 と SACLA は世界最高峰の性能を誇っています。放射光施設は、生命科学や環境・エネルギー、新材料開発など様々な分野の研究開発に貢献していることから、世界中でその重要性が認識されている。

今、奥州市においては、ILCの誘致実現を願っております。関係者においては、今後の対応として、秋には大きな動きをしたいと要望活動の強化、国民的な広い支持を得られるようにしたい。また、2019→2022 設計施工 2023→2031 トンネル地上施設建設を目標にされているようですが、セルンをみると見学者は年間12万人、月1万人が来るとも言われております。Spring-8においても、国内外から産学を問わず、毎年延べ1万6千人もの研究者がやってくるということです。奥州市にもILCの誘致を実現し、経済の活性化、交流人口の活性化を図っていききたいものだと感じた研修でした。

8月8日(木)午後1時～

兵庫県川西市

#### 市立川西病院の改革について

兵庫県地域医療構想では、医療機能の文化・連携・在宅医療の充実、医療従事者の確保が求められている。阪神北医療圏は急性期病床の半数近くを高度急性期・回復期へ移行する必要あり、川西市内には高度急性期を担う病院がない。川西市には、市立川西病院、急性期235床、協立病院同じく313床。市立川西病院の経営状況は、市からの補助金や長期貸付金などにより経営を支えているが、平成14年度以降、経常収支の赤字が解消できない状況が続いている。市立川西病院は開設以来35年が経過し、施設・設備ともに老朽化。建て替えが必要。地域医療構想に沿って医療機関の再編・ネットワーク化などの取り組みを行い、国から地方交付税支援を受けるなどの財政対策を講じていく必要がある。

新センターにおける課題整理から考察する具体的戦略として

#### ア 病院施設の整備

市中心部(キセラ川西エリア内)への建設

→ 市内完結率の向上、職員のアクセス配慮

#### イ 高度急性期・急性期医療の提供

重症度の高い患者を中心に受け入れ

→ 医療機能の分化・連携

#### ウ 救急受入体制の強化

365日24時間体制のスタッフ配置を目指す

→ 救急完結率の向上

#### エ 周辺医療機関との連携

地域医療連携室や患者支援センター(PFM)の整備

→ 切れ目なく医療・看護介護サービスが提供できるよう支援・調整。

#### オ 小児・周産期領域の対応

周辺医療機関との連携・診療機能の集約



→ 公立病院の使命として診療体制を整備

カ 経営の効率化

指定管理者制度の導入

→ 2019年4月1日より医療法人協和会が指定管理者として管理運営し、抜本的な経営改善

「市民が安心・安全できる病院」基本方針として(仮称)川西市立総合医療センター整備の基本方針

ア 地域の医療機関と連携し、市の基幹病院の役割として地域包括ケアシステムの構築を進めます。

イ がん治療の充実

ウ 救急医療の充実

エ 小児・周産期医療を推進

オ 病室の全室個室化

カ 北部診療所を整備

キセラ川西センターは28診療科、12センター400床、想定患者数、入院は1日当たり約370人、病床稼働率93%、外来1日当たり約900人。想定職員数は、医師80~90人、看護師約400人、医療技術職は約100人、病棟は全室個室化、キセラ川西センターは早期開院を目指し、工期短縮可能な基本設計から施工までを一括して発注するデザインビルド方式にて設計施工者に発注。2022年秋ごろの開院を目標とし、キセラ川西センターと北部診療所の総事業費274億円に30年間の借り入れ利子を含めた総事業費は約355.5億円で指定管理者が50%を負担し、国からの財政支援である地方交付税が約36%であるため、市の負担は約14%の約49.1億円(30年間の年平均償還額は約1.7億円)となります。そもそも病院建設をするのか、あきらめるのか、経営的にもこれまで通りではだめだ。平成29年5月に構想を出してから3年ぐらいかかったそうで、協立病院も新しく建てる考えがあったそうで、市立川西病院と協立病院を合併。職員は半分の職員が残り、臨時職員は指定管理者が正職員にしたそうで、一定の給与保証をし4年間補償。また、極秘で動いていたとのこと。

8月9日(金) 午前9:00~

秋津野ガルテン

地域づくりと6次産業化について

和歌山県田辺市の上秋津地区は人口3300人、1230世帯、人口の増加が続く農村、農村地帯という地域の在り方が変わってきた。住民同士の関係も変わってきた。農業振興地域でありながら、畑の周りに家が建ち並び、平成の初めは600戸だったのが現在は1,230戸。農業で地域を支えてきた。農業が衰退すれば地域も衰退する。幾た

びもの農業危機も地域で知恵を出し乗り越えてきた。

柑橘と梅との複合経営、柑橘につぐ、もうひとつ柱を作ろう、それが南高梅であった。今はほとんどの農家は複合経営である。平成11年、一人31万円、31人、農家だけの出資ではなく、幅広く地域の住民に呼びかけ、秋津野直売所「きてら」を立ち上げる。平成18年には、資本金1,000万円で事業の継続性、社会における信用性、経営責任を明確化するため、農業法人株式会社「きてら」として法人化を活かし他、都市と農村の交流施設、秋津野ガルテン誕生。小学校移転計画を機に旧校舎と土地の購入。地域づくりの大きな転機は、昭和32年「社団法人上秋津愛郷会」誕生。平成24年「公益社団法人上秋津愛郷会」へ得られた収益は①教育の振興 ②住民福祉 ③環境保全 と地域全体の公益のためだけに使う、愛郷会は大きな地域づくりの財産で行政に頼ることのない自主財源の確保。

秋津野ガルテンによる経済効果は

- 1、秋津野ガルテンの事業部分  
約4億2,500万円
  - 2、秋津のガルテン以外での観光消費部分  
約5億4,500万円
  - 3、マスコミによる広告宣伝効果  
約6億7,000万円
- 平成23年度の経済波及効果の合計  
約9億7,000万円

結論として

田辺市内(周辺地域)への波及効果が大きい。「利益追求ではなく、地域の活性化を目指してきたことが良い結果につながっている。」合意形成は難しい、水面下で進めることも大事と株式会社秋津野の会長は話しておりました。また、地方創生で何かしないといけないと地域の方々が気づき始めた。また、地域を株式会社・法人化にしていることに驚き、耕作放棄地解消のため、農地管理のための株式会社を考えている話も聞き、改めて地域のバイタリティーに敬意を表するところであり、我々では到底まねができませんと感じてきたところでもあります。

以上奥和会の行政視察報告といたします。

政務活動費 支出整理票			整理番号	02 - 02
			支出整理日	令和 01 年 08 月 09 日
令和01年度	議員名	藤田 慶則	支出項目	調査旅費

金額	2,435	円
----	-------	---

使途： 奥和会行政視察経費：秋津野ガルテン

視察日：令和元年8月9日（金）

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	講演・研修費用	R01-08-09	17,000		17,000
2	資料代	R01-08-09	2,480		2,480
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			19,480	0	A 19,480
按分の内容	8人			按分割合	B 1 / 8
按分後対象支出額 (A × B (按分がない場合はA再掲))					C 2,435

備考	領収書は奥和会共通経費整理票02-01に添付

領収書貼付欄 (貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと)

政務活動費 支出整理票			整理番号	02 - 03
			支出整理日	令和 02 年 02 月 20 日
令和01年度	議員名	藤田 慶則	支出項目	調査旅費

金額	46,340	円
----	--------	---

使途：奥和会行政視察旅費（静岡県掛川市）

視察日：令和2年2月3日（月）～4日（火）

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	J R代金	R02-02-20	37,240		37,240
2	宿泊費	R02-02-20	9,100		9,100
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			46,340	0	A 46,340
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額（A×B（按分がない場合はA再掲））					C 46,340

備考	

領収書貼付欄（貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと）



<b>領 収 書</b>		№ 016369																				
藤田慶則 様		令和 平成 〇 年 〇 月 〇 日																				
取 入 印 紙	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table> ¥ 46,340																					但し、御旅行代金として、上記正に領収いたしました。
近畿日本ツーリスト 特約店 <b>水沢ツーリストサービス株式会社</b> 岩手県奥州市水沢区南町3番17号 TEL (0197) 24-7301 FAX (0197) 24-7312		認印																				
A・B-																						





## 奥和会会派行政視察研修報告書

24 番 藤田慶則

日 時 令和 2 年 2 月 3 日 (月) ~ 4 日 (火)  
場 所 中東遠総合医療センター (掛川市・袋井市病院企業団立)  
静岡県掛川市「希望の丘」  
掛川花鳥園

令和 2 年 2 月 3 日 (月) 14:00~  
中東遠総合医療センターにおいて

掛川市は、平成 31 年 4 月 1 日現在で、人口 117,978 人、45,211 世帯と姉妹都市である奥州市と似ております。面積は、奥州市は 993.3 平方キロメートルで、東西に約 57 Km、南北に約 37 Km で、掛川市の面積は 265.69 平方キロメートルで、東西に約 15 km、南北に約 30 km で、奥州市の 4 分の 1 弱であります。

旧掛川市立総合病院は許可病床 450 床。旧袋井市民病院は許可病床 400 床。掛川病院は閉院時に多額の繰入金を投入。袋井病院は閉院を前に徹底的に経費を圧縮した。17 年度以降の繰入金は、掛川病院は基準内 66 億円、基準外 2 億 3 千万円。閉院直前に多額の基準外繰り入れを行い閉院時の債務を解消した。袋井病院は基準内 41 億円、基準外 35 億 7 千万円。基準外繰り入れを継続的に受け入れ、閉院時の債務を解消した。掛川病院は昭和 59 年 4 月移転新築。医療の進歩に対応できない施設の老朽化で建て替えが必要な時期であった。都市部への偏在、臨床研修医制度の変更により医師不足。それに伴い、診療科縮小、病棟閉鎖、経営悪化につながり、単独での建て替えでは維持することが困難という課題を抱え、単独での建て替えから統合へ、平成の大合併後 (H17.4.1) 次は病院を何とかしないとの機運が高まり、掛川市・袋井市が近隣病院との再編統合が望ましいということで、平成 19 年 12 月 21 日掛川市・袋井市新病院建設協議会設立。新病院建設協議会は、両市で 13 名ずつ 26 名、両市以外から 10 名、計 36 名で構成。会長に、(財)しずおか健康長寿財団理事長 佐古 伊康 氏 (さこよしやす)。副会長に、浜松医科大学 寺尾学長。名古屋大学附属病院 松尾院長。掛川市・袋井市新病院建設協議会は計 11 回の会議を開催。建設場所は提案から確認まで 6 回の協議を要した。その結果、国が進める地域医療再生の先駆けとして統合、医療資源の集約と急性期病床の適正化を先取り、市立病院同士としては全国初統合、急性期病床 350 床削減、一般病床 496 床、感染症病床 4 床、計 500 床で平成 25 年 5 月 1 日開院。

病院統合の主要課題と打開策として、無駄遣いだ、病院が遠くなるという市民感情は、協議状況を市民、新聞、テレビにすべて公開、病院の実態、困窮状態が市民に伝わった。統合後の医療体制は最重要課題で、医師確保については、統合の意義を認め、大学側の全面的な協力が得られた。最大の課題で、当事者間での決着は難しい建設場所は、元県立総合病院長、浜松医科大学長、名古屋大学病院長による、正副会長 (第三者) 裁定による決着。病院職員の身分、雇用条件、業務調整等の経営形態は職員の身分を公務員とする、地方公営



か企業法の全部適用により企業団へ、両市の財政負担、落としどころが見つからない負担割合は、両市長、両市議会議員の絶対につぶせないという強い意志。

決定から4年の超スピード開院。

建設費用は221.5億円。幸いにも土地、建物は非常に安価に調達できた。東日本大震災の復興需要が本格化する前に工事契約ができた。

平成30年度診療実績は

- ・入院患者 : 435人/日
- ・病床利用率 : 86.9%
- ・在院日数 : 9.8日
- ・新入院患者数 : 1,219人/月
- ・入院診療単価 : 63,188円/日
- ・外来患者数 : 1,242人/日
- ・外来診療単価 : 13,790円/日
- ・紹介料 : 81.6%
- ・逆紹介料 : 100.5%
- ・手術件数 : 4,718件 (※手術室内)
- ・分娩件数 : 570件
- ・救急車受入件数 : 6,228件

開院後、医師(研修医含む)は38人増え、6年目ついに黒字化。臨床研修医マッチング状況は令和元年度の第一希望者は、定数14人に対し19名。

病院統合の成果として

1. 医師数が大幅増加
2. 医療の質が格段に向上
3. 断らない救急が実現
4. 病院経営力が想定を超えて向上
5. 災害医療拠点が確立し防災力が強化

されたということです。

病院建設に当たっては、全世帯からアンケートを取りましたが、95%が比率的だったとのこと。また、会長がリーダーシップをとり、進めてくれたのでものになったのではないかと感じました。

研修では、院内も見せていただきましたが、どの科であれ職員の皆様に挨拶をしていただき、職員教育の違いを知らされました。

いずれ奥州市においても、先送りにせず決断する時期ではないかと感じてきた研修でした。

令和2年2月4日(火)9:00~

掛川市「希望の丘プラン」の概要について

構想から5年、掛川市民の念願であった市立総合病院の跡地に平成27年4月1日。地域をはじめ、各法人や事業所の皆様の多大な協力のおかげで、新たに市民の暮らしへの希望と安心を支える「希望の丘」が誕生しました。この「希望の丘」は、障がいのある人も含め、すべての世代の人が、住み慣れた掛川でいつまでも暮らし続けられるよう、「市民に開かれ、大学のキャンパスのように美しく」をテーマに、多くの人々の叡智を集めて医療、保健、福祉、介護、教育に関する施設が集まり「命」を育む拠点とすることができました。

希望の丘には、知的障がいのある、または、肢体不自由で知的障がいのある小中高生を対象にした特別支援学校。掛川（大須賀区域除く）、菊川、御前崎の各市から通学している、静岡県立掛川特別支援学校。定員 20 名で、心身に障がいのある子どもたちの放課後と長期休暇の活動支援を行う施設、社会福祉法人掛川市社会福祉協議会が行う放課後等ディサービスセンター、はるかぜ。掛川市の中部地域を管轄する医療、保健、福祉、介護の連携により在宅生活の総合支援を行う地域拠点施設。平日夜間、休日の初期救急を行う施設。掛川市中部地域健康医療支援センター「中部ふくしあ」小笠掛川救急診療所（掛川市）。ふくしあは「希望の丘」の多職種連携により総合支援を行う中心的地域拠点であり、希望の丘以外にも、「南部ふくしあ」「南部大須賀ふくしあ」「南部大東ふくしあ」「西部ふくしあ」が開所されている。掛川市緑茶予防医学・健康科学研究所。静岡県看護協会中東遠地区支部。掛川市介護支援専門員連絡協議会。地域若者サポートステーションかけがわ。定員 120 人の許可保育所。0 歳児から 5 歳児までが対象。隣接する特別養護老人ホームとの相互交流を図る、社会福祉法人 春献美会が行う「かけがわのぞみ保育園」。社会福祉法人天竜厚生会の子育てセンターひだまり。定員 100 名の介護認定を受けた高齢者が、介護を受けながら日常生活をする施設。隣接する保育園との相互交流を図る、社会福祉法人 湖星会の特別養護老人ホーム、ラスール掛川。定員 20 人、主に痰の吸引など、医療的ケアが必要な人を含む重症心身障がいのある人が日中に通う通所施設、社会福祉法人 和松会の生活介護事業所 ぴのほーぶ。療養病床 240 床、老健 100 床・急性期医療の後方支援機能を受け持つ回復期リハビリテーション機能を持つ療養型の病院。介護認定を受けた高齢者が、在宅復帰を目標に機能回復を図る施設、医療法人社団 綾和会の掛川東病院・介護老人保健施設、桔梗の丘。

旧大東町は旧胆沢町と姉妹都市でありましたが、胆沢の「達者の郷」構想も研修をされたということですが、今では、完全に「希望の丘」構想が進んでいるという感想を持った研修でありました。

令和 2 年 2 月 4 日（火）10 時 45 分～

掛川花鳥園の概要について

「花と生物とのふれあい」をテーマにしたテーマパークであり、総面積 10 ヘクタール、国内最大規模（7,000 平方メートル）の大温室を備えた園内では、熱帯性スイレンやブルグマンシアなどの珍しい花々や多種のフクロウやペンギン、インコなどの鳥類に出会え、直接触れ合うことができる。また、フクロウや鷹等のバードショーも人気。冷暖房の温室内は夏涼しく、冬は暖かで、雨の日でも問題なく一年中快適な空間で花や鳥を楽しむことができる。また、園内はフラットでユニバーサルデザイン対応なので、車いすやベビーカーでも十分楽しめる場所でもあります。

ただ、現在は経営者が変わり 2 代目の社長だそうですが、歓迎を受け入場料はサービスを受けてまいりました。いずれ、大勢の人数で昼食も楽しめる場所であり、市民が憩える場所であると感じてまいりました。

以上奥和会会派行政視察研修報告といたします。

政務活動費 支出整理票			整理番号	05 - 01
			支出整理日	令和 01 年 12 月 27 日
令和01年度	議員名	藤田 慶則	支出項目	広報費

金額	13,200	円
----	--------	---

使途：「奥和会だより」印刷代

---



---

No.	支出の明細	支出日	領収書金額	対象外	対象支出額
1	印刷代	R01-12-27	13,200		13,200
2					0
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
9					0
10					0
合 計			13,200	0	A 13,200
按分の内容				按分割合	B
按分後対象支出額 (A × B (按分がない場合はA再掲))					C 13,200

備考	.....
	.....
	.....

領収書貼付欄 (貼りきれない等の場合は裏面又は別紙に貼付して差し支えないこと)

No. \_\_\_\_\_

## 領 収 証

藤田 慶 則 様

令和 1 年 12 月 27 日

種 別	金 額	摘 要
入金		
内 振 込		
内 約 手		
内 相 殺		
内 小 切 手		
消費 税		


金額


千	百	拾	万	千	百	拾	円
		4	10	2	0	0	

但し 金 90 円 150 部  
上記の金額有難く領収致しました

印 紙

係 印





**あべ印刷株式会社**

代表取締役 阿 部 由 起 彦

〒023-0003 岩手県奥州市水沢佐倉河字東 1-1-1

TEL (0197) 24-8303

FAX (0197) 24-8330

この領収証で係印の無いもの並びに金額を訂正してあるものは無効です。



No.6



# あいわかり 奥和会だより

【発行責任者】奥和会会長 渡辺 忠 【発行日】令和元年12月27日

挨拶



奥州市議会会長派  
奥和会 会長  
渡辺 忠

市民の皆様には、日頃より奥和会に對しまして御指導、御愛顧を賜わり誠にありがとうございます。さて今年には台風等の災害が発生し、被災者の皆さまには心より御見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。昨今の災害は、いっどこで発生するかも知れ今後大



奥州市議会 議長  
小野寺 隆夫

この度、奥和会機関紙「奥和会だより」第六号の発行にあたり、拙稿ながら一文寄せさせていただきます。

奥州市議会では、現在議会改革の取り組みを進めています。その第一は、市民に開かれた議会の実現です。情報公開はもとより、より市民に親しまれる議会を目指しています。議会の役割として、行政監視や牽制機能の役割があります。しかしこれだけに固執してしまうと、とかく行政の上げ足取りだけに神経を使ってしまう危険性があります。議会は二元代表制の一翼を

## 「議会改革の旗手として」

大きな課題であると思っております。こういう時こそ、ラグビーチームで話題になりました。ワンチームになって皆んなで心を合わせ対策を講じることが課題であり、安全、安心の街づくりだと思います。我々奥州市議会派、奥和会、としましては、ワンチームの気持でもってお互いに力を合わせ、前に進む新しい年にしたいと思っております。今後とも、市民の皆様の御指導をお願い申し上げます。

担う存在です。市政に対して積極的に政策提言や政策立案をしていくべき機関でもあります。今年議会では、三本の政策提言を市長に提出しました。政策提言をまとめるためには、多くの議員が合意することが必要です。意見の違いを強調することが議会の目的ではありません。市民福祉の向上に資するために、まずは合意できる政策の実現を果たしていくのが議会の務めであると認識します。

議会内第一会派である奥和会様におかれましては、その先頭で立て改革を推し進めていただきたいと思っております。奥和会をますますのご活躍をご祈念いたします。

## 「一般質問の状況」

二〇一九年開催された四回の定例議会における、奥和会メンバー一般質問の状況

### 2月定例議会

菅原 由和議員

- 都市計画について
- カヌーによる地域振興について

高橋 浩議員

- 小中学校の伝承活動等について
- 小中学校におけるトイレ環境の整備について
- 小中学校教職員の増員について

### 6月定例議会

渡辺 忠議員

- I・L・C誘致実現について
- 農業振興ビジョンの取組みにについて

藤田 慶則議員

- 所有者不明土地について
- おうしゅう地産地消わくわく条例の取組について

菅原 由和議員

- 人口プロジェクトについて
- 奥州宇宙遊学館と国立天文台について

千葉 和彦議員

- 六次産業化の支援のあり方について（答弁者：市長）
- 災害時受援体制の整備について

### 9月定例議会

高橋 浩議員

- 森林環境譲与税について

### 12月定例議会

藤田 慶則議員

- ふるさと納税について
- 歴史遺産について
- 中西 秀俊議員
- 公共施設等総合管理計画について

梁川 大輔議員

- 梁川バイパスの整備に伴う市の対応について

千葉 和彦議員

- 農業担い手支援策について
- 小野寺 満議員
- 福祉対策について





渡辺 忠 (昭和三十九年出身)

今後の市の発展の為に!!  
先般、病院の再編、統合の検討が必要だと厚労省が公表し、公立公的病院リストが波紋を広げています。

今後高齢化が進む上で医療や介護のニーズは増える一方で医師や看護士など医療現場で働く人材が不足していることも大きな課題となっている。

水沢病院の新築構想も色々と課題となっているが、市の将来を考える時に安心して暮らせる為にも必要不可欠である。今後の人口減少を考える時こそ、医療体制をしっかりと確保されることも人口増加に關係して行くと思う。更に、地域医療、公的病院のあり方は我々住民が自ら決めていくことだと思ふ。

もちろん大事なことは、地域医療は民間病院の機能と合わせて考えるべきであり、一体となって奥州市の医療の方向性を決めていく時だと思ふ。議会も当局と一体となり早い時期に医療体制を構築することだと思ふ。

又、奥州市には抱えている課題も沢山ある中で、①空き家対策、②農業の人手不足、③人口減少問題、④福祉事業の促進等、重要な課題に取り組む施策の展開が強く求められている。

更にはIT・ICT誘致問題も大きな課題であります。先般仙台で各国から関係者が出席され誘致活動を中心とした今後のまちづくりについてのセミナーが開催されました。年明けには、国として何らかの進展がみられるとの話題はありました。が、いずれ誘致にむけての活動は更に深いものと期待するところでありませう。

今後とも課題解決をしながら、人口減少対策をしっかりと打ち出し、若い人達が地方を見る目が違ってくる住民自治の確保が今、強く求められていることに注目し、対応を考えた施策を実現していきたい。



岩野 達志 (昭和三十九年出身)

昭和は戦争の時代、平成は災害の時代ともいわれました。そして、

令和の幕開けは、台風一九号による豪雨災害。全国で九三人が亡くなり、三人が行方不明。堤防決壊は七一河川、一四〇か所。土砂災害は二〇都府県で八二二件。住宅被害は八万七千余りともいわれています。亡くなられた皆様、被害にあわれた皆様にはご冥福をお祈りし、お見舞いを申し上げます。奥州市においても床下浸水・市道の被害・農作物・農業施設等に被害を受け、避難された方々は全体で七四名でした。我が家においても、屋敷林が倒されました。屋敷林は散居集落のシンボルでもあり、昔は防風林の役目を果たしたのだから、台風直後には、屋敷林を切る方々も増えたようでした。

稲作においては、温暖化による出穂期から登熟期における高温と、地力の低下により乳心拍米が多発し、等級が低下しました。新築を予定していた奥州南中学校給食センター(仮称)の建設地が洪水浸水想定区域内にあり建設場所が見直しされます。台風、ゲリラ豪雨等異常気象によりまちづくり・コメ作りにも影響があることと思ひます。天の恵み・天の災い、令和はどんな時代となるのだろうか……。

令和の幕開けは、台風一九号による豪雨災害。全国で九三人が亡くなり、三人が行方不明。堤防決壊は七一河川、一四〇か所。土砂災害は二〇都府県で八二二件。住宅被害は八万七千余りともいわれています。亡くなられた皆様、被害にあわれた皆様にはご冥福をお祈りし、お見舞いを申し上げます。奥州市においても床下浸水・市道の被害・農作物・農業施設等に被害を受け、避難された方々は全体で七四名でした。我が家においても、屋敷林が倒されました。屋敷林は散居集落のシンボルでもあり、昔は防風林の役目を果たしたのだから、台風直後には、屋敷林を切る方々も増えたようでした。

稲作においては、温暖化による出穂期から登熟期における高温と、地力の低下により乳心拍米が多発し、等級が低下しました。新築を予定していた奥州南中学校給食センター(仮称)の建設地が洪水浸水想定区域内にあり建設場所が見直しされます。台風、ゲリラ豪雨等異常気象によりまちづくり・コメ作りにも影響があることと思ひます。天の恵み・天の災い、令和はどんな時代となるのだろうか……。



中西 秀俊 (江前栗川出身)

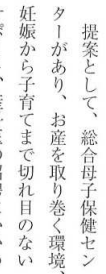
子育て世代が住みたいまちを目指して

高齢者を考えると同時に、新しい世代のことも視野に入れないと、日本は衰退してしまうといひます。人口構造で逆ピラミッド化からくる社会バランスの不安定さは、すでに目の前にきている問題です。これまで、小中学校のすし詰め教室、高度成長期と都市の過密化、世帯数増加からの住宅問題、年金問題……。

一方、若い世代の都市集中には、地方での過疎化問題が伴い、世代別人口の不均衡は高度成長期にすでに始まっていたのです。結婚問題や過疎化による小中学校の統廃合、さびれた商店街、第一次産業の後継者不足問題は、全国各地で見られる課題です。

このような背景からしだいに、次の世代に関心が集まりますが、核家族化や子どもを産まなくなつた若い層に、打つ手が定まらないともいひます。危機感がなく、余りにも目を向けてこなかったからではないのでしょうか。

高齢者を考えると同時に、新しい世代のことも視野に入れないと、日本は衰退してしまうといひます。人口構造で逆ピラミッド化からくる社会バランスの不安定さは、すでに目の前にきている問題です。これまで、小中学校のすし詰め教室、高度成長期と都市の過密化、世帯数増加からの住宅問題、年金問題……。



菅原 由紀博 (水沢大鐘町出身)

「チーム議会」として 更なる改革を

提案として、総合母子保健センターがあり、お産を取り巻く環境、妊娠から子育てまで切れ目のないサポート、産科医の招聘にかかわる課題から産後ケア施設の整備などの後押しが更に必要に思ひます。子育て世代が不安なく子どもを産み、育てられる社会をつくりあげていくことが、特効薬のない少子化対策の、ひとつの突破口になってくれることを願っています。

今、全国の地方議会では、議会の改革の取り組みが積極的に行われています。これは、二〇〇〇年に施行された地方分権一括法や地方自治法の改正により、地方主権が本格化したことに伴い、地域経営に貢献する議会としての役割が飛躍的に高まったことによるものと思ひます。

議会の改革の第一の目的は、市民に開かれた議会を実現し、住民福祉の向上に寄与することであり、議会の仕組みを変え、機能強化や

提案として、総合母子保健センターがあり、お産を取り巻く環境、妊娠から子育てまで切れ目のないサポート、産科医の招聘にかかわる課題から産後ケア施設の整備などの後押しが更に必要に思ひます。子育て世代が不安なく子どもを産み、育てられる社会をつくりあげていくことが、特効薬のない少子化対策の、ひとつの突破口になってくれることを願っています。



活性化を図っていくことであります。

この間、奥州市議会でも議会改革検討委員会等において様々な検討が進められ、情報発信の拡大や政策提言等の取り組みが行われてきました。六月に発表された早稲田大学マニフェスト研究所の二〇一八年度議会改革度ランキングでは、全国六八位と前年度の三九六位から大きく順位を伸ばし、着実にその成果が表れてきているものと思っております。

これまでの議会の役割は、行政のチェック機能・監視役と言われてきました。しかし、これからは地域課題を解決する議会、住民福祉の向上に寄与する議会となり、議員単体の議会活動ではなく議員総体の議会活動が重要で、議員事務局職員、市民が一体となった総力戦だと言われております。

ラグビー日本代表と同様「ONE TEAM (ワンチーム)」となり、正に「チーム議会」として議会の最高規範である議会基本条例の検証と見直しをはじめ、政策サイクルの構築等の改革を更に進め、山積する市政課題に果敢に立ち向かって参りたいと強く決意をしております。



千葉 和彦 (水沢買城出身)

「初心忘れるべからず」

時代は平成から令和に年号が変わり新たな時代を迎えました。平成の三〇年間はバブル経済崩壊等による経済の低迷からはじまり、人口減少や少子高齢化といった問題が顕在化し、更には顕発する災害やIT社会の進展等、私たちの生活環境が大きく変わっていった時代でした。新たな令和という時代が、私たちに与り本当に良い時代の幕開けになれば良いと思っております。

さて、一昨年議員に初当選し一期目の任期も早二年目が経とうとしております。この間、地域の声を市政に反映し地域の課題解決をしていくという姿勢で議員活動をしてまいりました。議会では産業経済常任委員会に所属し、特に奥州市の基幹産業である農業について、この一年間様々な農政課題を学びながら課題解決に向け取組んで参りました。お陰様で、奥和会では経験豊富な諸先輩が多く、様々な市政課題について日々学ぶことができ、議員活動に大きく役

立っております。

現在、奥州市は少子高齢化・人口減少や公共施設の再編等、多くの市政課題を抱えておりますが、一〇年後・二〇年後の住みよい奥州市をつくるため「初心忘れるべからず」を胸に、市民皆様からいただくお一人おひとりの声を大切に、その課題解決に向けて丁寧に向き合い、まじめに取組んで参ります。



高橋 浩 (上柳伊手出身)

賑わいの復活

議員生活も二年を迎え、忙しく活動して居ます。議会では、建設環境常任委員を始め四つの委員会、一連盟に所属するほか、奥州金ヶ崎行政事務組合議員として、用水供給事業、衛生センター・消防運営等に携わり勉強しております。

二月定例会では、学校の伝承活動と職員体制、八月は森林譲与税を、引き続き質問しました。今後の奥州市は少子高齢化を迎え、人口増加は厳しいと捉えます。増えなければ人を呼込む事、色々な仕掛けを考え交流人口を増やし、活性

化を図る事が必要と考えます。当前目指す第二期奥州市障がい者計画を策定し、平成三〇年度から平成三七年度まで八年間、この計画に基づき推進中です。

しかし、今年開催した二回の市民と議員の懇談会では、「仲間づくり差別のない地域づくり」、「障がいのある人でも働ける環境づくり」、「障がいのある人に対応した医療体制・介護体制の構築」など多くの意見が市民の皆さんから出されました。

現在、障がいのある人の雇用・就労の窓口は、公共職業安定所や胆江障害者就業・生活支援センターをはじめ、関係機関団体が連携を図り行っていますが、特に、就労支援事業施設に入所している知的障がい入所者の就業の現状は、働く職場がなかなか見つからない状況にあります。



小野寺 満 (水沢買城出身)

誰もが等しく 暮らせる奥州市に

奥州市は、障がいのある人もない人も誰もが等しく家庭や住み慣れた地域で生活し、お互いに関わりとして尊重し合えるまちづくりを

目指し、第二期奥州市障がい者計画を策定し、平成三〇年度から平成三七年度まで八年間、この計画に基づき推進中です。

「障がいのある人でも働ける環境づくり」、「障がいのある人に対応した医療体制・介護体制の構築」など多くの意見が市民の皆さんから出されました。

現在、障がいのある人の雇用・就労の窓口は、公共職業安定所や胆江障害者就業・生活支援センターをはじめ、関係機関団体が連携を図り行っていますが、特に、就労支援事業施設に入所している知的障がい入所者の就業の現状は、働く職場がなかなか見つからない状況にあります。

そこで私は、「障がい者就労斡旋センター」設置をし、雇用の拡大と就労による障がいのある人の自立を促進すべきと考えます。

奥州市は、市民に対し様々な施策を講じ、推進する必要があると思っております。



# 行政視察報告

令和元年八月七日(水)～九日(金)の三日間の日程で、奥和会所属議員七名に、小野寺隆夫議長を加えた八名にて、先進事例への取組等について行政視察を実施致しました。

## 八月七日(木) 兵庫県佐用郡佐用町 「播磨科学公園都市」

Spring 大型放射光施設。電子を加速・貯蔵するための加速器群と発生した放射光を利用するための実験施設見学。



## 八月八日(木) 兵庫県川西市 (人口一五三,七二八人)

- 市立川西病院の改革
- ①(仮称)市立総合医療センター整備事業
- ②市立病院と民間病院の統合
- ③指定管理者制度の導入



## 八月九日(金) 和歌山県田辺市 (人口七三,一三三人)

- 秋津野ガルテン
- (農業法人株式会社安芸津野)
- 地域づくりと六次産業化
- (グリーンツーリズムによる都市と農村の交流)



### 編集後記

全国市議会議長会より「議員表彰」が行われ、奥和会から藤田慶則議員、中西秀俊議員が、議員一五年以上の表彰を受け六月二十六日、六月定例会において表彰状が伝達されました。

藤田議員は胆沢議会、中西議員は江刺議会と奥州市合併前から議員を続けられ、広域合併等々を経て、永きに渡り議事を牽引して参りました、その御苦労に敬意を表すると共に、益々の御活躍を御期待申し上げます。

平成から令和と元号が変わり、新たな時代を迎え、奥和会も益々張切って居ります。奥和会だよりは、第六号の発行となりました、今後も会派の活動等紹介して参りますので宜しく願います。

(高橋 浩)

### 奥和会メンバー

- 会長 渡辺 忠(胆沢)
- 副会長 藤田 慶則(胆沢)
- 副会長 中西 秀俊(江刺)
- 幹事長 菅原 由和(水沢)
- 会計 千葉 和彦(水沢)
- 事務局 高橋 浩(江刺)
- 監事 小野寺 満(水沢)